

『横浜マラソン2026』事業計画



2026年1月22日
横浜マラソン組織委員会

横浜マラソン2026 キービジュアル



キービジュアルに込めた想い

フルマラソン化から10周年の節目となった「横浜マラソン2025」を経て、新たな一步となる「横浜マラソン2026」のキービジュアルが完成しました。

制作にあたっては、横浜マラソンが大切にしてきた「街と走る体験」を言葉として明確にするため、新たに今大会のキャッチコピーを策定。

「走り出すたび、横浜が“もっと好きになる。」

走る過程で横浜の魅力と出会い、走るたびに街への愛着が深まっていく想いを込めたこのキャッチコピーを基に、キービジュアルを創り上げました。

※本キービジュアルは、大会告知ポスターをはじめ、各種プロモーション媒体において大会PRのために広く活用します。

開催趣旨

スポーツ振興や健康増進に寄与し、経済波及効果やシティセールス効果が期待できる
「する、みる、ささえる」すべての人が楽しめる大会を目指します。

横浜マラソン2026大会の特徴

ポイントA 「する、みる、ささえる」 参加の輪が広がる横浜マラソン	ポイントB 街ぜんぶが会場になる、 横浜ならではのにぎわい 横浜マラソン	ポイントC 10年先も誇れる 横浜マラソン	ポイントD GREEN×EXPO2027 へ、走ってつなぐ 横浜マラソン
<p>大会を核とした多様な参加体験機会の充実により、子どもたちをはじめ多くの方が横浜マラソンに親しむ機会を広げるとともに、安全・安心な大会運営に取り組みます。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランナー募集人数の拡大と安全・安心な大会の両立 ・子どもの参加機会の創出 ・ボランティアの拡充 ・ふるさと納税枠の見直し・拡大 ・定期的なランニングクリニックの開催 	<p>街全体を舞台としたにぎわいづくりを通じて経済活性化につなげ、国内外の参加者をはじめ誰もが楽しめる大会を実現し、「会場のにぎわい日本一」を目指します。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィニッシュエリアのにぎわいづくり ・大会参加者、ボランティア、観戦者へのおもてなし ・海外へのPR拡大、国外大会との連携強化 	<p>次の10年を見据え、脱炭素をはじめ、環境負荷の低下を図り、多様な参加機会を提供するなど、サステナブルな大会運営を目指します。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素の取組拡大 ・パートナーと連携したゼロエミッション大会を目指す取組 ・紙コップなど再資源化による資源循環 ・インクルーシブな大会運営 ・エンジョイラン種目の充実 	<p>GREEN×EXPO2027開催半年前という機会を捉え、大会を通じた機運醸成や脱炭素の取組を推進し、大会に関わる人々とともに環境配慮行動の促進を図ります。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GREEN×EXPO 2027開催に向けた機運醸成 ・脱炭素に繋がる行動変容

1 大会概要

名 称	横浜マラソン2026 (英文名 : YOKOHAMA MARATHON 2026)
開 催 日	2026年10月25日(日)
主 催	<p>横浜マラソン組織委員会</p> <p>横浜市、神奈川県、(公財) 横浜市スポーツ協会、(一社) 横浜市陸上競技協会、横浜市スポーツ推進委員連絡協議会、横浜市町内会連合会、(公財) 神奈川県スポーツ協会、(一財) 神奈川陸上競技協会、神奈川県実業団陸上競技連盟、神奈川県スポーツ推進委員連合会、(一社) 横浜青年会議所、(公財) よこはまユース、(社福) 横浜市リハビリテーション事業団、(公社) 横浜市身体障害者団体連合会、横浜商工会議所、(一社) 横浜市商店街総連合会、(公財) 横浜市観光協会、(一社) 横浜市医師会、横浜港運協会、神奈川倉庫協会、(一社) 横浜みなとみらい21、株式会社横浜国際平和会議場、山下公園通り会、横浜エフエム放送株式会社、株式会社アル・エフ・ラジオ日本、神奈川新聞社、株式会社テレビ神奈川、(一社) 神奈川県バス協会、(一社) 神奈川県タクシー協会、(一社) 神奈川県トラック協会</p>
運営管理	横浜マラソン組織委員会事務局
主 管	(一社) 横浜市陸上競技協会
運営協力	横浜市スポーツ推進委員連絡協議会

協 賛
【2025実績】

オフィシャルパートナー

ENEOS株式会社、
株式会社ローソン、日産自動車株式会社、プーマ ジャパン株式会社、
株式会社杉孝グループホールディングス、株式会社京三製作所、日清オイリオグループ株式会社、
株式会社横浜銀行、NTT東日本株式会社、第一生命保険株式会社、レイズネクスト株式会社、
アート引越センター株式会社、東急グループ、アクエリアス、株式会社JEPLAN、
ダスキンレントオール、リストグループ、株式会社フォトクリエイト、三菱地所グループ、
株式会社日立ハイシステム21、株式会社ONODERA GROUP、SHOKZ

横浜サポーター

横浜ハンマーヘッド、株式会社JTB、古河電池株式会社、富士通株式会社、株式会社ありあけ、
フィード・ワン株式会社、株式会社ネオジャパン、株式会社日新、認定NPO法人おれんじハウス、
株式会社キタムラ、ANESSA、株式会社城山、プライムケア東京株式会社、日本光電工業株式会社、
フレッシュ・デルモンテ・ジャパン株式会社、株式会社ミツハシ、RDC RUN CLUB、
横浜高速鉄道株式会社、カリフォルニア・レーズン協会、よこはまコスモワールド

協 力
【2025実績】

首都高速道路株式会社、パシフィコ横浜、相鉄グループ、京浜急行電鉄株式会社、
横浜シティ・エア・ターミナル株式会社、横浜高速鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社 横浜支
社、横浜市交通局、横浜市消防局、横浜市水道局、（公財）横浜市緑の協会、
京浜急行バス株式会社、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社、
国立研究開発法人海洋研究開発機構、アマノマネジメントサービス株式会社、
(一社) 横浜港振興協会、(公社) 神奈川県看護協会

後 援
【2025実績】

スポーツ庁、観光庁、朝日新聞社、（公財）日本スポーツ協会

競技規則

本大会の大会規程及び日本陸上競技連盟競技規則を準用する

種 目
参加資格

マラソン **42.195km**

ペアリレー **第1走者 約21.7km 第2走者 約20.5km**

2008年（平成20年）4月1日以前生まれの方で、フルマラソン（ペアリレーは2人1組）を6時間以内に完走できる方

湾岸ハイウェイラン **約20.5km**

2008年（平成20年）4月1日以前生まれの方で、約21kmを3時間以内に完走できる方

みなとみらい7kmラン **約7km**

2011年（平成23年）4月1日以前生まれの方で、約7kmのコースを60分以内に完走できる方

エンジョイラン **約3km**

○車いす：2020年（令和2年）4月1日以前生まれの方で、約3kmを車いすで60分以内に完走できる方（車いすの仕様に制限はありません。ただし、レーサーは走れません。）

○ファミリー：小学生とその保護者（18歳以上）のペアで、約3kmを45分以内に完走できる方

○中学生：中学生の方で、約3kmを45分以内に完走できる方

※スタート地点の変更等により、距離が変更になる場合があります。

フルマラソン・ペアリレー・湾岸ハイウェイラン コース

■フルマラソン／ペアリレー／湾岸ハイウェイランコースマップ



「横浜マラソン2025」と同様のコースを考えています。

※コースの一部変更を行う場合があります。

みなとみらい7kmラン（約7km）



エンジョイラン（約3km）



「横浜マラソン2025」と同様のコースを考えています。

※コースの一部変更を行う場合があります。



種目	申込	2026大会		2025大会	
		募集人数	参加料金	募集人数	参加料金
●マラソン ※1		22,300人		22,300人	
女性ランナー優先枠 ※1	先着	4,000人	18,500円	6,000人	18,500円
地元優先枠 ※1	横浜市民枠	先着	2,000人	18,500円	2,000人
	神奈川県民枠	先着	1,000人	18,500円	1,000人
一般枠	抽選	12,750人	18,500円	10,600人	18,500円
チャレンジ枠 ※2	先着	500人	18,500円	500人	18,500円
特別更衣エリアプラン	抽選	150人	22,000円	150人	22,000円
チャリティ枠 ※3	先着	400人	53,500円 (寄附金35,000円含む)	400人	53,500円 (寄附金35,000円含む)
ふるさと納税枠 ※4	先着	500人	65,000円～※5 (納税返礼品含む)	500人	118,500円 (納税返礼品含む)
国外在住者枠	先着	1,000人	25,000円	1,000人	25,000円
●ペアリレー	抽選	400組・800人	32,000円	300組・600人	32,000円
●湾岸ハイウェイラン	抽選	500人	16,000円	100人	16,000円
●みなとみらい7kmラン		5,000人		5,000人	
一般枠	抽選	4,500人	7,000円	4,500人	7,000円
チャレンジ枠 ※2	抽選	400人	7,000円	500人	7,000円
ふるさと納税枠 ※4	先着	100人	25,000円～※5 (納税返礼品含む)	—	—
エンジョイラン（車いす）	抽選	100人	4,500円	100人	4,500円
エンジョイラン（ファミリー）	抽選	700組・1,400人	7,000円	500組・1,000人	7,000円
エンジョイラン（中学生）	抽選	100人	4,500円	100人	4,500円
合 計		30,200人		29,200人	

※1 「女性ランナー優先枠」・「地元優先枠」の落選者は、自動的に一般枠の抽選に移行します。

※2 「チャレンジ枠」はP12に詳細を記載しています。

※3 チャリティ寄附先とし10団体程度を寄附先に設ける予定です。

※4 横浜市の個人版ふるさと納税となるため、横浜市外に在住の方が対象となります。

※5 ふるさと納税枠は、複数の返礼メニューを設ける予定であり、各メニューに応じて寄附金額は異なります。

※6 事前配付物（アスリートビブス・計測タグ・参加賞Tシャツなど）は、前日受取を基本として、事前送付を希望する方は、配送料（500円）を別途いただきます。

3 スケジュール

年間計画

2026年 1月	22日	組織委員会 開催
3月	中旬	募集要項公表
4月	8日	エントリー開始 一般ボランティア募集開始
5月	17日	エントリー締め切り① (チャリティ枠・出走権付宿泊プラン・ふるさと納税枠・国外在住者枠を除く)
	下旬	エントリー締め切り② (ふるさと納税枠)
6月	下旬	エントリー締め切り③ (チャリティ枠・出走権付宿泊プラン・国外在住者枠)
		エントリー開始 (国外在住者枠 (レイトエントリー))
8月	中旬	エントリー締め切り④ (国外在住者枠 (レイトエントリー))
10月	上旬	ボランティアリーダー研修会開催
	25日	横浜マラソン2026 開催

スタート時刻・制限時間 (参考: 2025大会実績)

種目	スタート時刻	競技終了
マラソン・ペアリレー	8時30分	15時00分
みなとみらい7kmラン	8時30分	10時00分
車いす エンジョイランファミリー 中学生	9時40分	10時25分
湾岸ハイウェイラン	10時00分	15時00分

関門閉鎖時刻（参考：2025大会実績）

コース上に関門地点を設け、関門時刻に関門を通過していないランナーは、失格となります。

	場所	関門距離 (km)	関門時刻
スタート関門	スタート	0	9:05
第1関門	展示ホール北交差点	3.5	9:30
第2関門	マリンタワー前交差点	6.2	9:49
第3関門	錦町交差点	8.5	10:06
第4関門	本牧陸橋北側	11.6	10:30
第5関門	プールセンター入口交差点付近	15.6	11:03
第6関門	新森町高架橋付近	18.2	11:25
第7関門	南部市場交差点	20.9	11:48
第8関門	磯子スポーツセンター前	21.8	11:56
第9関門	首都高56.1KP	27.3	12:45
第10関門	首都高51.5KP	31.9	13:26
第11関門	港湾道路入口	36.5	14:08
第12関門	マリンタワー前交差点	39.1	14:32
第13関門	横浜赤レンガ倉庫入口	40.4	14:44
フィニッシュ関門	フィニッシュ	42.195	15:00

※みなとみらい7kmランの関門は、第1関門及びフィニッシュ関門となります。

※関門番号・表記や関門距離・時刻は変更になる場合があります。

表彰・記録について

■ 表彰について

表彰はネットタイムにより次のとおり行います。

- ・フルマラソン 男子 1位～8位
女子 1位～8位
- ・みなとみらい7kmラン 男子 1位～8位
女子 1位～8位

※ペアリレー、湾岸ハイウェイラン、エンジョイラン（車いす・ファミリー・中学生）は表彰を行いません。

■ タイム計測について

フルマラソン、ペアリレー、湾岸ハイウェイラン、みなとみらい7kmランについては、計測タグによるタイム計測をします。
※エンジョイラン（車いす・ファミリー・中学生）はタイム計測を行いません。

4) みなとみらい地区会場周辺図【手荷物置場・更衣会場～スタート待機列】

【参考】～2025実績～



6 プロモーション・にぎわいづくり

タイミングを捉えた発信

ポイント
B

ランナー募集期から、国内外に向けた多様な広報PRを行い、参加者増につなげるとともに大会を盛り上げます。



ターミナル駅、商業施設、公共施設への
ポスター、チラシ、サイネージ
(2025)



ターミナル駅、商業施設、公共施設への
ポスター、チラシ、サイネージ
(2025)

シティドレッシング、デジタルサイネージ
(2025)

募集期
(エントリー告知を中心に展開)

直前期
(大会への機運醸成、ランナーのお出迎え)

インターネット・SNSの活用

ポイント
B

大会公式サイトやSNSなどを活用し大会をPRします。大会当日には今大会も、インターネット配信にて大会の模様を生中継する予定です。



【公式サイト】
(2025大会)



【インターネット配信(横浜マラソンTV)】



大会応援ゲスト

ポイント
B

大会のPRを行っていただく大会応援ゲストを招き、生中継との連動企画なども検討します。

フルマラソン	八田秀雄 山崎勇喜 尾藤朋美
みなとみらい7kmラン	谷原章介 信櫻空
湾岸ハイウェイラン	高城れに
エンジョイラン(ファミリー)※	アレックス・ラミレス
表彰式プレゼンター	EXILE MAIKIDAI、高橋優斗



※昨年は「ファンラン(ファミリー)」として実施

【参考:2025大会の応援ゲスト】

6 プロモーション・にぎわいづくり

国外在住者向けプロモーション



「BMOバンクーバーマラソン」との連携や国外在住者のエントリー増に向けたプロモーション、多言語化に対応した公式サイトを運用します。



【両大会間で相互派遣を実施予定】
(バンクーバーマラソン開催日:2026年5月3日)



【連携協定を締結】
(2025年7月)



【公式サイトの多言語化イメージ】
(例)韓国語、フランス語)

横浜マラソンポップアップイベント



大会開催直前期に歴代大会関連グッズの展示や販売を行い、大会機運の醸成を図ります。



チャレンジ枠対象事業



「チャレンジ枠対象事業」とは、横浜市内で開催するランニング関連事業に対し、横浜マラソンの出走権（有料）を付与するもので、行政や公共施設、民間団体などの事業を募集・選定します。

2026大会も引き続きフルマラソン及びみなどみらい7kmランの枠において提供していきます。

<対象事業>

- 市内各区の主催、共催、後援事業
- 横浜マラソン組織委員会事務局が主催する事業

- 各区スポーツセンター事業
- 横浜マラソン組織委員会事務局が認めた事業



にぎわいづくり



ランナーだけでなく、家族・友人も含め、すべての方が横浜で楽しんでいただける企画を実施します。

デジタル応援ガイド

応援・観戦者の利便性と回遊性向上させるデジタルマップを提供します。



横浜マラソンフェスタ2026

臨港パーク内でステージや飲食ブース、協賛出展ブースを設けます。



シティドレッシング

大会フラッグ等で各所を装飾し、大会の開催に合わせて街を彩ります。



7 ランナーサービス

横浜マラソンの開催PRを行うとともに、ランナーをサポートする企画を実施し、ランナーサービスを充実させることで、大会の盛り上げと大会価値の向上を図ります。

ラッキー給食・給水パフォーマンス

B

横浜マラソンの特色『ラッキー給食』と『給水パフォーマンス』を通じ、ランナーに横浜ならではのおもてなしを体験いただき、横浜マラソン・横浜のまちがもっと好きになる企画を充実させていきます。



ラッキー給食

地元横浜、神奈川を中心に、ご当地の食品を用意し、質量ともに充実を図ります。



給水パフォーマンス

大人から子どもまで、多くの方々に参加いただき、各給水所にてランナーを元気づけられるよう取り組みます。

ランナー応援企画

A

C

目標タイム別ランニングクリニック

エントリーしていただいた方をはじめ、広くランナーに向け、目標に合わせたトレーニングを実践・サポートします。



多様な参加を促すイベント

初心者や親子など、多様な方々を対象としたランニングイベントを開催し、横浜マラソンやランニングにふれる機会を提供します。



※各企画は2025年のものです。企画内容は変更する場合があります。

まちぐるみでのランナーサービス

B

記念乗車券の販売と活用による回遊性向上

交通事業者と連携し、記念乗車券を発売するとともに、記念乗車券を活用したサービスにより、記念乗車券を発売し、ランナーの回遊性向上につなげます。



【事業者と連携し作成した交通乗車券(2025年)】
(左:東急電鉄 右:横浜市交通局)

市内スポットと連携したランナーサービス

アスリートビブスを提示すると、市内の温泉施設で入浴セットのプレゼントや、入館料が割引になる企画など、市内のスポットと連携したランナーサービスの取組を行い、対象者の拡大も検討します。



8 SDGsの取組

ポイント
Cポイント
D

横浜マラソン2026は、環境負荷の軽減を図り、多様な参加機会を提供することで、サステナブルな大会運営を目指します。

脱炭素の推進・ GREEN×EXPO 2027との連携

カーボンオフセットの取組や大会製作物への環境配慮素材の使用など、大会運営による環境負荷を軽減し、脱炭素を推進します。

また、GREEN×EXPO 2027とも連携し、持続可能な社会の実現に向けた共感を深める取組を展開します。



循環社会に向けたチャレンジ

大会で使用したペットボトルや使用済み紙コップ、参加者から回収した衣服などを資源としてリサイクルする仕組を構築することで、参加者の循環型社会への意識向上、行動変容につなげます。



多様な参加機会の創出

「DEI」の考え方を大切にしながら、誰もが安心して参加できるような大会運営を目指します。

- Diversity(ダイバーシティ:多様性)
- Equity(エクイティ:公平性)
- Inclusion(インクルージョン:包括性)



横浜マラソンが取り組む SDGs の目標

3 すべての人に
健康と福祉を4 質の高い教育を
みんなに5 ジェンダー平等を
実現しよう7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに10 人や国の不平等
をなくそう12 つくる責任
つかう責任13 気候変動に
具体的な対策を15 陸の豊かさも
守ろう17 パートナーシップで
目標を達成しよう

ペットボトルや使用済み紙コップのリサイクル

植物由来素材を使用した
手荷物預け袋

再生紙ミックス紙を
使用したチラシ・ポスター



カーボンオフセットの取組



再生ポリエステルを
使用した参加賞Tシャツ



大会運営に使用する電気自動車



多様な参加者

8 SDGsの取組

GREEN×EXPO 2027の機運醸成

ポイント
D

横浜マラソン2026の開催日は、GREEN×EXPO 2027開幕まで約半年前というタイミングです。この機会を活かし、連携して様々な機運醸成企画を実施し、両イベントの盛り上げに大きな相乗効果を生み出していくます。



【トゥンクトゥンク ステージイベント】



【大会当日にBlooming Ringの配付】



【マラソンコースの装飾】

※2025年の実績です。内容は変更する場合があります。

子どもの参加機会充実

ポイント
Aポイント
C

これまで横浜マラソンでは、子ども参加種目や関連イベントを通じて、子どもたちの大会への参加機会の創出に取り組んできました。

横浜マラソン2026では、エンジョイラン（ファミリー）参加数の更なる増枠、子どもや保護者を対象とした関連イベントの開催を通じて大会の魅力を肌で感じてもらい、将来の大会参加ランナーの裾野拡大を目指します。



【フィニッシュテープを切ってみよう！ & バックヤードツアー】



【ファミリーボランティア】



【親子ランニングクリニック】

※各企画は2025年のものです。企画内容は変更する場合があります。



横浜を走る、世界が変わる。

「横浜マラソン2026」収支予算

(2026年1月1日～2026年12月31日)

収 入	934,677,388円
支 出	934,677,388円
差 額	0円

【収入】

【単位：円】

	費 　目	2026大会	2025大会	増 減	備 考
1	参加料金及び協賛金	766,191,000	693,741,000	72,450,000	
2	自治体負担金	130,000,000	137,702,000	▲7,702,000	
3	その他	500,000	500,000	0	
	小計	896,691,000	831,943,000	64,748,000	
	前期繰越金	37,986,388	5,567,961	32,418,427	
	合計	934,677,388	837,510,961	97,166,427	

※2026大会の自治体負担金については横浜市及び神奈川県の予算成立を前提として計上しています。

【支 出】

【単位：円】

	費 　目	2026大会	2025大会	増 減	備 考
1	広報・イベント費	132,231,300	126,425,000	5,806,300	
2	安全対策費	326,100,000	311,322,000	14,778,000	
3	大会運営費	402,324,500	368,282,000	34,042,500	
5	事務局経費	34,962,000	23,516,000	11,446,000	
6	予備費	1,000,000	1,000,000	0	
	小計	896,617,800	830,545,000	66,072,800	
	次期繰越金	38,059,588	6,965,961	31,093,627	
	合計	934,677,388	837,510,961	97,166,427	